

社会的事象を関連付け、社会への関わり方について思考を深めることができる児童の育成
～単元のまとめる過程における、フローチャートを活用した再構成の活動を通して～

特別研修員 社会 大竹 宏道（小学校教諭）

目指す児童像

社会的事象を関連付け、社会への関わり方について思考を深めることができる児童

【手立て2】 共通点や相違点を基に、個々の思考を深める。

個々の考えをグループで交流する

深める手立て

共通点や相違点を見いだしながら、新たな気づきをもたせていく。



スポーツ番組が伝える情報を、自分のプレーに生かしていきたいです。

スポーツ番組は、そういう見方もできるなんて考えたことがなかったな。



全体で共有する

更に深める手立て

グループで見つけた新たな気づきを発表し合う。



学習したことを振り返る

社会への関わり方を考える手立て

友達との交流を通して、更に考えを深めたことについて振り返りましょう。また、普段の生活の中で生かせることも書きましょう。



スポーツ番組を観て、自分が直したいところを見付けるのがよい考えだと思いました。ほくもやってみたいです。

【手立て1】 フローチャートを活用し、根拠となる社会的事象と個々の考えをつなぐ。

① 学習の流れ

フローチャートで整理する。

「情報を伝える工夫」について学習したよ。

「テレビ放送のえいきょう」について学習したよ。

② 学習して分かったこと

社会的事象を書き出す。

ニュースは、短い時間で分かりやすく情報を伝えているのだね。

テレビのえいきょうは大きく、報道被害や社会が混乱することもあるのだね。

③ 情報を生かしていくためにできること

社会的事象を根拠に、考えを書き出す。

ニュースは分かりやすく情報を伝えてくれるけど、本当に正しいのか考えて行動することも大切だね。

③の「情報を生かしていくためにできること」の根拠を、②の「学習して分かったこと」から選び、線でつなぎましょう。
社会的事象の関連付け → 知識の再構成

つなぐ手立て

フローチャートを活用したワークシート



学習課題 「放送局からどのようにして情報が届けられるのか調べ、情報の生かし方について考えをもとう。」

児童の実態

実生活との関わりの中で考える視点が希薄である。
一単位時間の学習内容を関連させて思考を深めることが苦手である。

成果

- フローチャートに整理した学習内容を再構成し、個々の考えを形成することができた。
- 視点を明確にした交流活動によって、新たな気づきが生まれ、活動前の考えを更に深めることができた。

課題

- 学習内容を自分の考えに置き換えている児童が見られた。児童の日常生活とも関わらせ、考えをもたせていくことが必要である。
- 個々の考えを紹介し合うだけに留まり、思考を深めるまで至らなかったグループも見られた。